

第2回

東部地区沿川まちづくり勉強会

前回のふりかえり

第1回勉強会の概要

【日 時】令和3年11月15日（月）18時半～20時

【場 所】東部区民館 集会室くすのき

【出席者】地元町会・自治会の代表者 12名

【主な内容】本勉強会の目的の説明



東部地区沿川地域の魅力と課題（グループワーク）

< 基本構想の対象地 >



前回のふりかえり

東部地区沿川地域の魅力と課題

【魅力】

- スポーツランドのスケート場は人気。区外の人にも自慢できる特色ある施設である。
- 水辺のスポーツガーデンは広いスペースが確保できる。
- 堤防は、ウォーキングやジョギングをする人が多い。
- くつろぎの家の足湯は人気があり、多くの区民が利用していた。
- 神社などを中心に地域の祭りが行われている。
- 東部交通公園は親子連れが多く訪れている。

前回のふりかえり

東部地区沿川地域の魅力と課題

【課題】

- スポーツランドの**観客席が少なすぎる**。大会があっても見ることができない。
- スポーツランド周辺は**災害時の避難場所が少ない**。
- 川沿いの歩道はでこぼこしており、自転車でも走りづらい。
- 堤防沿いは信号がないため車が速度を出しすぎており、**道幅も狭いため危ない**。
- 車椅子の人が川沿いの道から施設へと降りることができる場所がない。
- カーブが危ない道、消防車が入りづらい狭い道がある。
- くつろぎ家までの**交通が不便**。
- 遊びにいくところがない。

前回のふりかえり

東部地区沿川まちづくりの方向性

『東部地区沿川まちづくり基本構想（案）【骨子】』より抜粋

1．共生社会の実現

老若男女・障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる交流拠点を整備し、共生社会の実現を目指します。

2．地域のにぎわい創出

地域の特色を踏まえ、スポーツを活かした、区内外から人々が集まるにぎわい拠点を創出します。

3．災害に強いまちづくり

防災機能を付帯させることで、災害時における周辺住民の安全を確保します。

4．公共施設・土地の有効活用

公共施設の再編・整備にあたっては、周辺の公共施設や公共用地との一体的な利活用を図ります。

5．関連事業との整合

清掃工場の余熱の有効活用や、都県橋の整備にあわせた近隣自治体との連携を検討します。

前回のふりかえり

【第1回勉強会での主なご意見】

1. 共生社会の実現

- 障害者スポーツの拠点にしたい。
- 老若男女みんなが楽しめる施設ができると良い。
- 車椅子の人が川沿いの道から施設へと降りられない。

2. 地域のにぎわい創出

- スポーツランド・水辺のスポーツガーデンは特色ある施設である。
- スケート場の観客席が少ない。
- いろいろな氷上競技ができるようになると良い。

3. 災害に強いまちづくり

- 防災の拠点を充実させてほしい。

4. 公共施設・土地の有効活用

- 河川敷の景観を活かしたサイクリングロードがあるとよい。
- 施設間の連携ができるとよい。

5. 関連事業との整合

- 清掃工場のお湯等を活かし広く活用できるものを整備してほしい。
- 交通の便があまり良くない。

今後のスケジュール

- 次回の勉強会は令和4年3月15日(火)を予定しています。
- 詳細については改めてご連絡します。

令和3年度実施予定(全3回)

